

編集後記

○暑中御見舞申し上げます。ズルズルと長かったつゆの天気もようやく終りになったようで、晴れ間には乾草作りに精を出す農家があちこちにみられます。水田の除草作業と重なり畜産農家は粗飼料生産に、家畜の防暑対策に、生産物の出荷に御苦労が多いことと存じます。

○農業構造改善事業の農林省の説明会が、中四国各県の関係者を集め、7月11日から岡山市で開催されていますが、いよいよ農村の生産構造の改革を進める動きが本格的になってきました。現実にはいろいろの障害もあるようですが、国で考えていることは、さし当っての漸進的なものでなく、10年以上もの将来を見越した飛躍的な経営規模の拡大、生産の合理化を総合して進めていくことにあるようです。畜産による経営拡大もその意味をよく理解して、個々の農家もその決意を固めて、大量に投入される資金を最大限に生かすのでなければ、菓の飲み過ぎのようなもので障害の面も出てくるのが心配されます。

本号では取りあえず、さき頃農林省で出された農業構造改善事業の実施要領を紹介することにしました。

○またそれに関連して畜産関係の融資金の借り方について、県畜産課の担当係からかみくだいて解説してもらいました。

夏場は畜産物の出荷には特に注意が必要です。大阪経済事務所からの鶏卵と肉豚の出荷注意を中心に、これを時報におさめました。

○国体も近づいてきましたが、畜産関係でも県営枝肉市場が間もなく会場の運びになりますし、そのほか県では牛乳の消費促進、草の週間に運動、畜産共進会など秋にかけていろいろの行事が行なわれるようで、また忙がしくなりそうです。

○会費の未納の方は至急御納入下さるよう御協力をお願いします。地方の畜産のおもしろい話題、事例等がありましたら誌上に紹介したいと思しますので御手数ですが係までお知らせください。

表紙写真

夏に陽光の中に遊ぶジャージー

(蒜山原＝県立酪農大学校)